

第 16 回高校課題研究フォーラム 「高校でできるセラミックス実験」

日 時 2009 年 8 月 19 日 (水)
場 所 名古屋工業大学 2 号館 6 階(617A)

- テーマ 1 「バイオセラミックスー医療で使われるセメントとは？ー」
(名古屋工業大学大学院・教授 春日敏宏)
- テーマ 2 「基礎釉の発色実験～PDF, HTMLを用いたデータ整理」
(岐阜県立多治見工業高等学校 手島 敦)

平成 21 年 8 月 19 日に名古屋工業大学において、第 16 回高校課題研究フォーラムが開催され、実験施設を使用しての実習及び講義を実施した。参加者は 13 名であった。
名古屋工業大学の春日先生による「バイオセラミックスー医療で使われるセメントとは？ー」では、最初に概略説明が行われた後、数種類のリン酸カルシウムの粉末を水と混合し、医療で使われるセメントの硬化の様子を体験した。その後、2 班に分かれて硬化の途中経過を走査型電子顕微鏡で観察した。

午後の最初は、昨年からの企画として、セラミック科設置の高校の先生による下記 2 件の研究発表が行われた。

- 発表 1 「課題研究における「イッテコイ窯」の築窯」
滋賀県立信楽高等学校 瀧下 広幸
- 発表 2 「科目「セラミック工業」における原子力関連材料の学習について」
大阪市立泉尾工業高等学校 岸 俊雄

後半は、岐阜県立多治見工業高校手島先生による「基礎釉の発色実験～PDF, HTMLを用いたデータ整理」として、釉薬の説明・基礎釉の発色試験の結果・PDF, HTMLによるデータ整理の説明が行われた。

最後に、名古屋工業大学の先生方のご協力により、セラミックス関連の研究室の見学を行った。





